

大きく強度性能も低いことが明らかであり、主伐木の梢端部に近い同一径級の材とは材質がまったく異なる。

15) 小径竹を利用した竹製品

大 西 洋

目 的

小竹類はその大きさや産出量からして機械化や量産向きにはむずかしいもので、勢い手加工的なものに使用される材料であり量産は考えられなかつたが、加工工程の一部に機械利用をとり入れ、小径竹数種を利用して材質的な特徴を活かした新

製品を開発し業界への導入を図る。

概 要

主要材料 ヤタケ ホテイチク メダケ 杉材

補助材料 割籐 黒葛 棕栢縄 銅線 絹紐

使用材料 穿孔棧 木口研磨具 手持穿孔機

穿孔方法

丸竹の中心に正確に孔をあけるには、V型の治具をつくりこれに丸竹をのせ盤面にガイドをつけてこれに添って穿孔すれば、竹材の大小にかかわらず正確に穿孔することが出来る。

試作品 短冊掛 色紙掛 手拭掛 盛器類 花台 花器類 傘立 置台など

成 果

小径竹の材質的な特徴を生かした壁面加飾製品や実用品など新しいデザインを採用試作し、展示会などにおいて好評を得ている。

又小竹類は大径竹には見られない素朴な美しくしさをもっており、素材の良し悪しがすでに製品の価値を決定するので、素材の処理、保管・加工・仕上げに至るまで細心の注意が必要である。

